

## スウェーデンにおける問題点と要望

	区分	意見元	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
14	税制	日機輸  日機輸	(1)	難燃剤含有電気電子機器への課税に対する対応	<p>・2016年11月、スウェーデン製品含有難燃剤課税規則が成立し、2017年4月1日施行と対応時間が短い。 指定されている難燃剤がRoHSやREACHで制限されているものに限定されず、調査が難しい。 具体的な課税方法が不明確で、現地での対応に苦慮。</p> <p>・2017年中ごろから特定の化学物質を使う電気製品の一部に新たな課税を開始予定。</p>	<p>・当局からのガイダンス発行など。</p> <p>・本法は環境保護の観点で何も効果を望めず、製造者の手間とコスト増をもたらすだけであり、効果が見えない。“影響を受けた難燃剤リスト”に含まれないより危険な化学物質の使用につながる可能性がある。よって取りやめるべきである。</p>	<p>・<a href="http://www.riksdagen.se/sv/dokument-lagar/dokument/svensk-forfattningssamling/lag-20161067-om-skatt-pa-kemikalier-i-viss-sfs-2016-1067">http://www.riksdagen.se/sv/dokument-lagar/dokument/svensk-forfattningssamling/lag-20161067-om-skatt-pa-kemikalier-i-viss-sfs-2016-1067</a></p> <p>・Law (2016:1067) about tax on chemicals in certain electronic products / Svensk författningssamling 2016:1067</p>
16	雇用	日機輸	(1)	ビザ更新が困難	<p>・目下の大量移民問題を背景として、当局の人員不足ならびに確認事項の強化により、ビザ更新に要する時間が大幅に増加。ビジネスに支障をきたしている。</p>	<p>・ビザプロセスを簡素化して頂きたい。</p>	<p>・移民法</p>